

従業員向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			
非常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。			

保護者向け	課後等デイサービス評価表
-------	--------------

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。					
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。					
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。					
保	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。					

護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、初応マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。					
	29	事業所の支援に満足していますか。					

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がその部屋で何をやるのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2

「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3

「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4

「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスクローバー		
○保護者評価実施期間	2026年 1月7日		～ 2026年 1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・サッカーを中心とした運動活動を楽しむことができる。	・サッカーやボール遊び等の運動活動中心のプログラムを行い、楽しみながら体を動かすことができる。また、一人ひとりがやってみたい・出来るようになりたいと挑戦し、成功体験や失敗体験などの経験を積み重ねることができている。 ・低学年の子どもさんや体を動かすことに対し自信が持てない子どもさんに対して、簡単な体を動かす遊びを取り入れたり、少人数での活動を	・運動活動の内容の幅を広げたり、土曜日や祝日に行う活動内容の充実を図ったりして、子ども達が楽しみながら必要な力を身に付けることを考えながら、職員間で意見を出し合って活動を設定していきたい。
2	・地域の子ども達や地域の方々と関わりを持つことができる。	・月に一回、子ども食堂を開催したり、土曜日や祝日に保護者の方や曾於市の他の事業所さんと一緒に運動会や親子サッカー大会等のイベントを開催したりして、地域の子ども達との関わりを持つことができている。 ・子ども達が主体となって開催する子どもレストランやカフェを開いて保護者の方を始めとして学校の先生や地域の方	・地域の方々との交流の場で、保護者や地域の方々同士が直接関わるのでできる場面も作っていききたい。 ・子ども達のことを地域の方たちが知っていてくれて、困った時にも地域で助け合える仕組みを作っていききたい。
3	・計画に沿った支援を行うことができ、活動内容を工夫している。	・個別支援計画の内容を支援員同士で共有し、支援内容を踏まえながら活動内容を考えることを意識している。 ・定期的に支援員同士でミーティングを行い、活動の際に気になることや困ったこと、活動内容について意見を出し合い、改善や工夫を行っている。 ・関係機関と連携し、支援の方向性を確認しながら	・引き続き、計画について支援者間で情報を共有し、支援者全員で共通した支援ができるようにする。 ・日ごろの活動やイベント事などの際に、支援員それぞれの役割を決め、予測されることを支援者同士で話し合い、臨機応変に対応できるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方々へ事業所のマニュアルや非常時の対応について周知不足である。	・マニュアルについて、入所時に説明をしているが、定期的には行っていない為、周知されていない事が考えられる。 ・訓練を行ったことについて、公表できていなかったり、保護者に説明不足であったことが考えられる。	・保護者の方と個別支援計画の見直しの際に、ホームページにて公表しているマニュアルや非常災害時の対応について説明を行う。 ・訓練等を行った際に、ホームページで公表し、そのことについても保護者にお伝えする。 ・入所時の説明の際、分かりやすい
2	・施設的环境・設備体制が見えにくい部分がある。	・活動内容を写真やSNS等で公表したり、面談の際に施設内を見ていただいているが、説明が不足していたことが考えられる。	・体験や入所時に、実際に活動の環境を見てもらい、十分な広さと適切な人員配置であることの説明を行う。 ・施設の設備体制についての説明を行ったり、行事ごとの際に、活動の様子を写真も交えながらわかりやすく伝えることができるようにしていきたい。
3	・地域との交流や保護者との交流の場を目的としたイベントとして伝わりづらい面がある。	・定期的に子ども食堂や運動会などを開催し、保護者の方や地域との交流の場を設けているが、保護者同士が直接関わっている場面は少ないため、交流の場を作ることにも目的の1つであることが伝わっていない可能性がある。	・地域との交流や保護者との交流の場を目的としたイベントとして分かりやすいお知らせの仕方を心がけていく。 ・保護者同士が気軽に話をして交流しやすいイベントの雰囲気を作っていく。

公表 養育者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスクローバー	公表日	2025/2/18
		利用児童数	25
		回収数	23

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2		1		・主に大隅運動公園のグラウンドや 体育館を使用し、十分な活動スペースを確保しているため、安心して活
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1		1		・子供の人数に対し、十分な職員の 人数を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	20			3	・視覚的な情報を取り入れて日常が自立活動的なよ うに、設計の工夫がもっとあればと感じる。 ・絵カードや表などを取り 入れて話をして対応してもらうことで、キレることを 減らせると思います。	・学習をする場所と活動や遊びのスペースを分けたり 、活動の中で視覚的要素を取り入れたりしながら、環 境づくりを行っています。 ・必要に応じて、特性に合った 環境設定を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	21	1		1		・毎日、室内の清掃をして清潔に保 っています。また、活動に合わせた 空間を設定しています。
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある 支援が受けられていると思いますか。	22		1			・保護者や各機関からの情報をもとに経過案を作成し 、個別に説明し、同意を得た上で、支援を行ってい ます。 ・子どもさんの情報をスタッフ間で共有しながら支援をして います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内 容と合っていると思いますか。	22	1				・ホームページにて公開しています 。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観 的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画） が作成されていると思いますか。	23					・保護者や各機関からの情報を元に 計画案を作成し、個別に説明し、同 意を得た上で、支援を行っています
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ ンの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必 要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定さ れていると思いますか。	22			1		・保護者の方に聞き取りを行ったり 、学校や併用されている事業所と連 携を図ることで、具体的に支援内容 を設定しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	23					・放課後等デイサービスの改訂内容 を確認し、ガイドラインに沿って支 援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	22			1		・グラウンドや体育館などで、楽し める活動を計画しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会がありますか。	19	1	1	2		・子ども食堂を月に一回開催し、地域 の子ども達との交流の場を設けてい ます。 また、イベントを開催して、他の放課後 等デイサービスや学童と活動する機会を
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	22	1				・入所前に、見学や体験を行ってもら い、保護者の方とお話しする時間を 作らせていただいています。また、運 営規定などの必要事項は、契約時に 説明させてい
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がな されませんでしたか。	23					・法改定時の個別支援計画の見直し の際に、分かりやすく簡潔に説明し ています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われ ていますか。	22			1		・必要に応じてご家族の方と話がで きる機会を設けたり、子ども食堂や 宅食などで子育て支援を行っていま
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	23					・送迎時や連絡帳、電話などで子 どもさんの様子を伝え、連携を取 ることができた。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています か。	22			1		・必要に応じて、行うことが できた。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1				・日々、子ども達とコミュニケー ションをとり、一緒に活動し、気持 ちや感情に共感しながら支援を行 って
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。ま た、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされています か。	20	2		1		・子ども食堂を月に一回開催し たり、親子でのサッカー大会等の 行事を開催したりして、保護者同 士の交流の機会を作っています。

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22			1		・ご家庭からの相談や申し入れ等があったときには、話し合いを行い、対応を考えています。事前に、連絡事項や相談のできる連絡先を伝えていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23					・連絡事項や活動の様子など、連絡帳やLINEでのやり取りを行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1				・ホームページにて、月の予定を紹介したり、保護者専用ページで毎日の活動の報告をしたりしています。SNSでも、日々の様子や行事等を投稿して発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23					・特に、SNSで活動内容等を発信する場合は、個人情報の取扱いに留意して個人が特定されることの無いよう確認を行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、初犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	1	5		・各マニュアルを作成し、支援者間での事故防止策の話し合いや訓練を行っています。保護者の方に向け、マニュアルをホームページでも公開しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1		6		・各マニュアルを作成し、支援者間での事故防止策の話し合いや訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	2		3		・各マニュアルを作成し、支援者間での事故防止策の話し合いや訓練を行っています。また、安全確保のために、定期的に
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1		1		・怪我等があった際には、状況を確認し、必要に応じて電話で連絡を取り合っています。また、保護者の方への経緯を含め、説明をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	1			・利用者によっては不安が強い日もあると話していました。	・今後も引き続き、予定表をお渡しして見通しを立てることが出来るようにしたり保護者の方の様子をお話したりなど、安心して通所できるように子ども達と関わり、活動を考えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	2				・今後も引き続き、通所を楽しみにできるように、活動を工夫したり、子ども達とコミュニケーションを密に取っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23					・全体の活動に加えて、個別のニーズに合わせた支援も行っています。今後も、各家庭と連携を取り合い、支援を行っています。

公表施設における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスクローバー				公表日	2026 年 2 月 12 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・体育館やグラウンドなど十分なスペースを確保し、活動を行うことができている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・子どもの人数や子ども達の状態、その日の活動などを考慮し、適切に支援員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・自由に遊ぶ場所と座って活動する場所を区切り、環境を整えています。	・手すりなどはないが、必要に応じて設置していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎朝、清掃をして室内を清潔に保つことに努めています。また、活動内容に合わせて場所を変え、活動しやすい環境を設定しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・必要に応じて、個別の部屋が必要と考えられる場合は、使用を認めています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・支援記録として記録し、支援者同士で共有しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・アンケートにご協力いただき、ホームページにマニュアル等を公開するなど、改善に努めています。	・保護者の方に分かりやすい説明を行っていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・支援者が集まった時に、日ごろの活動などについて支援者の意見を出し合い、把握し、業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・社内研修の開催、外部研修への参加を行っています。	・法人内での研修を行うときは、なるべく職員が参加しやすい時間帯で行っていきます。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・毎月の予定をホームページにて公開しています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・支援者間で話し合っアセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・児童発達支援管理責任者を中心に、支援者間での情報共有を行い、計画書の作成をしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・支援者間での話し合いの際に共有し、計画に合った支援を行うようになっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・インフォーマルなアセスメントの結果や、行動観察などのインフォーマルなアセスメントを支援者間で共有し合い、個別の支援に活かしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・保護者の方にも聞き取りを行い、ガイドラインに沿って、本人支援、家族支援、移行支援及び地域支援・地域連携の内容項目を踏まえて計画を作成し、具体的な支援内容を記載しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・次の月の予定を考える際に、支援者全員で子供たちに経験してほしいことや楽しんでほしいことなど意見を出し合っ計画を立てています。		

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・活動を設定し、状況やその時の状態に合わせて内容の修正などを行っています。また、外部の講師の方を招き、固定化しないように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・個別支援計画のニーズに合わせて記載し、実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・支援前に支援者間で前日の様子や送迎の際に保護者の方との会話の内容、学校での情報などの内容を共有の為にミーティングを行っています。そして、意見交換をしたり、支援の方向性について話をしたりして、役割分担を行い、連携を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・支援終了後も、職員間で活動や子ども達の様子などについて振り返り、連絡事項や気になることなどを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・毎日記録を取り、活動の振り返りや個々の支援に活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年に1回、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	5		・支援を組み合わせ、行っていきます。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・活動では役割を子ども達で決めたり、活動の内容の意見を出し合って決めたりして、自己決定の場を作っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・管理者、児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・関係機関と必要に応じて連携し、情報共有を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・学校への送迎の際に、その都度学校の先生との会話による情報共有を行うことができている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			・当事業所では、対象児童の入所はありませんでした。来年度は対象となる利用児がいる場合は行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・学校や関係機関との連携、情報提供などを行うことができた。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		・事業所連絡会に参加し、児童発達支援センターの方と情報交換等を行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		・子ども食堂やサッカー大会、作品展などの行事を開催しており、交流する機会を作っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎の際などに、日ごろから情報共有や支援の方向性の共通理解などが持てるように努めています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		・現在、家族支援プログラム等の取り組みは行っていないが、今後家族の参加できる研修の機会など、情報提供を行って	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・入所される前に、説明させてもらっています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・子どもさんの意思や保護者の方の意向を踏まえて計画を作成しています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・半年に1回の見直しを行い、同意を得て支援を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・いつでも相談できるような体制を整えています。必要に応じて、面談をするなど、対応しています。	・日ごろから保護者の方と様子を共有したりして相談しやすい関係づくりをしていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5		・子ども食堂やサッカー大会などのイベントを開催し、きょうだい同士や保護者同士で交流する場を作っています。 ・行事ごとの際に、日々の活動の様子の写真で見てもらったりしています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・その日のうちに対応し、解決を図っている。その後、保護者の方にも丁寧に様子を伝え、安心して預けることができる体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・ホームページにて、ブログを更新したり、チラシ配り等を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・パスワードをかけたり、ホームページには保護者専用ページを設けたりと個人情報の取扱いに留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・連絡帳や電話やラインなど、必要に応じて、連絡の取りやすい方法をとれるよう、柔軟に対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		・行事ごとには、地域の方にもチラシを配って招待し、地域に住む方との交流を行い、顔の見える関係性になれるように工夫しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・職員間で、定期的な事業所内研修を行って周知することができている。	・保護者への周知が不足しているため、訓練実施の周知を行ってきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・BCPを作成し、避難の仕方などの訓練を支援者間で行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・服薬をしている場合は、事前に連絡をもらい、その日の子どもの様子を支援者が保護者に伝えるようにしています。 ・ご家庭でてんかん発作等があった場合には、保護者の方と情報共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・契約時にアレルギーの有無を確認し、把握することができている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を作成し、事業所内で研修や訓練を行っています。また、毎日の清掃で危険な箇所はないか、確認を行って支援しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・支援者間で連携が取れるように、共有している。	・ホームページにてマニュアルを公開しているが、家族に対して安全計画についての周知が不足している部分があるため、改善していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・想定されるヒヤリハットについて支援者間で話し合っ共有し、防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・事業所内で、虐待防止のための研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・身体拘束の必要性について、ご家族と確認を行っています。		